



2022年11月14日

P & G ジャパン次世代に向けた『ダイバーシティ・イクオリティ&インクルージョン』セッションや  
持続的な社外向け「アライ育成研修」無償提供など、LGBTQ+に関する社内外の取り組みが評価  
「PRIDE 指標 2022」において、3年連続で最高評価「ゴールド」認定を、  
2年連続で「レインボー」認定をダブル受賞！



P & G (P&G ジャパン合同会社、本社:神戸市) は、任意団体 work with Pride が主催する、企業や団体の LGBTQ+などのセクシュアルマイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2022」において、最高評価である「ゴールド」を3年連続で、また2021年に新設された、国・自治体・学術機関・NPO/NGOなどとの、セクターを超えた協働を推進する企業を評価する「レインボー」認定も2年連続で受賞いたしました。「PRIDE 指標」は、「Policy (行動宣言)」「Representation (当事者コミュニティ)」「Inspiration (啓発活動)」「Development (人事制度・プログラム)」「Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)」の5つの評価項目に沿って、採点されています。

P & Gでは、経営戦略の一環として「平等な機会とインクルーシブな世界の実現 (イクオリティ&インクルージョン=E&I)」を掲げ、「文化」「制度」「スキル」を三本柱に、経営陣の強いコミットメントのもと、ジェンダー平等、インクルージョン推進、更に多様な社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できる組織づくりに30年近く取り組んでまいりました。

2016年3月には、社長直轄の社外啓発組織「P & G インクルージョン啓発プロジェクト」を発足。四半期に一度、社長から社員に向けてE&Iにおける活動や進捗を共有する機会を設けています。2020年2月には、LGBTQ+当事者とアライで構成されるコミュニティ「GABLE」の活動を開始。プロジェクトチームに所属するメンバーはチームごとに目標とアクションプランを設定し活動を実施、役員がリーダーとなり、社員とともに活動を推進しており、全社として積極的に取り組んでいます。

2021年5月からは新たにLGBTQ+に対する「アライ」（理解者・支援者）の輪を日本社会に広げることを狙いとした研修プログラム「アライ育成研修」の社外無償提供を開始いたしました。2022年6月時点で50社390名にご参加いただいています。同研修内では当事者も登壇し、実際の声を届けることや参加者がより自分ごととして捉える機会をつくりました。「LGBTQ+に関して体系的に学ぶことで理解が深まった」「アライとして何が出来るのかわからなかった中で、アライを表明することの大切さや出来ること・方法が分かった」「是非職場の中でアクションにつなげたい」など様々な声をいただいています。今後も業界を超えてより多くの企業様や団体様に向けて研修の提供を継続し、日本においてひとつでも多くの組織が誰もが安心して自分らしく過ごせる職場環境づくりを後押しすること、また自社の知見をさらに深め、業界を超えたつながりを広げることで、取り組みの輪を拡大し、共に成長して行くことを目指します。

2022年5月には、将来の日本を支える次世代の方々を対象に、企業がなぜE&Iやインクルーシブな職場づくりに取り組むのかを理解し考えることを目的としたコラボセッション「ダイバーシティ・イクオリティ&インクルージョン」をNO YOUTH NO JAPAN様と協働で開催。次世代が企業や組織で働くことを前向きに捉える機会を創出することで、これからの日本におけるインクルーシブな職場環境の構築をリードする層の拡大を目指します。

人材はP & Gにとって最も重要な経営資源です。そのためP & Gは今後も、多様な社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる組織づくりとともに、啓発プロジェクトの活動を通じて、日本社会における「平等な機会とインクルーシブな世界の実現（イクオリティ&インクルージョン=E&I）」の更なる推進に取り組んでまいります。



『work with Pride 2022』カンファレンスにおける「レインボー認定」企業の表彰時の様子

<ご参考資料>

### ■アライ育成研修について

P & Gでは2021年5月より社外の企業や団体向けに「アライ育成研修」の無償提供を行っています。「アライ育成研修」は講義とワークショップの2つのパートから構成されています。前半の講義パートでは、性の多様性についての知識を身に付けるほか、P & Gの事例などを通し、インクルージョンの重要性について理解を促進します。そして、後半のワークショップでは、参加者同士でのディスカッションを通して、参加者一人一人が、「アライ」可視化の重要性、明日から「アライ」として何が出来るか、「アライ」がもたらすものとは何かを考え、少しでも多くの参加者が「アライ」としてのスキルを身に付けることを狙いとしています。プログラムの講師は、P & Gの中でも特にインクルージョンに精通した社員や執行役員が担当し、高

品質な研修プログラムの提供を実現します。2021年5月の開始時からこれまでに、50の企業や団体に研修プログラムを提供してきました。

#### 【実施方法】

- 所要時間：約2時間（グループディスカッション含む）
- 実施形式：オンライン開催
- 対象：20人～30人

#### 【プログラム構成】 講義+ワークショップ

- 多様性・平等な機会・インクルージョンとは何か
- 「性の多様性」とは、知っておきたい基礎知識
- P & G ジャパンにおける事例紹介：今までの取り組みや注力分野、アライコミュニティ「GABLE」の設立
- 「アライ」とは：アライにできる5つのこと
- ワークショップ ※グループディスカッション
- 当事者にとって「アライ」の存在とは
- アライが組織・社会にもたらすもの、P & G アライ社員の実際の声
- 明日からのアクション

#### ■「平等な機会とインクルーシブな世界の実現（Equality & Inclusion =E&I）」について

P & Gでは、経営戦略の一環として「ダイバーシティ（多様性）・平等な機会・インクルージョン（受容と活用）」を掲げ、社員一人一人を「個人」として尊重し、多様な社員が能力を最大限に発揮できる組織づくりに1992年から30年近くにわたって取り組んできました。現在は、多様性を受容・活用するだけでなく、全ての人が平等な機会を得られるべきという考えから、「イクオリティ&インクルージョン（平等な機会とインクルーシブな世界の実現）」へと進化させ、「文化」「制度」「スキル」を3本柱に、女性活躍推進、ダイバーシティ（多様性）推進、個々の違いを受け入れて認める「インクルージョン」への取り組みをより一層強化しています。また、より多様な社員が、等しく機会を得て、自分らしさを大切にしながら活躍できる組織を目指し、ジェンダー平等、LGBTQ+の社員、障がいのある社員に向けての取り組みも強化しています。

#### ■ P & GのこれまでのLGBTQ+への取り組みについて

P & Gには「GABLE」という独自の言葉があります。これは「ゲイ・アライ・バイセクシュアル・レズビアン・トランスジェンダー・エンployer」の略で、LGBTQ+社員とアライ社員の総称です。GABLEは、LGBTQ+の社員や支援するアライはもちろん、全ての社員が安心して自分らしく、最大限の能力を発揮することができる、安全かつインクルーシブな職場環境をつくることを使命に、社内外での啓発活動に取り組んでいます。

## 社内啓発

経営層からあらゆる社員に至るまで、LGBTQ+についての基礎知識、インクルーシブなアライになるためにできることなどを学ぶ機会を提供し、一人一人の社員が持つ多様性と可能性を発揮できるための職場づくりを目指しています

### これまでの取り組み

各層に向けた GABLE 研修（経営層・人事部門・管理職・全社員）、アライコミュニティ「GABLE」による活動、アライ希望者への GABLE 講習、ステッカー等によるアライの表明、福利厚生制度の整備（同性パートナーシップ）、定期的な社内ニュースレター配信 等

## 採用活動

性的指向・性自認を含め、一人一人が持つ多様な違いを受け入れ、それぞれ社員が持つ多様性を積極的に活用していくための採用活動を実施していきます

### これまでの取り組み

面接担当者に対する研修、エントリーシートの性別選択肢（男・女・答えない）・写真の撤廃  
内定者への GABLE 活動の紹介 等

## 社外発信

社外パートナー団体と協働しながら、LGBTQ+当事者が自分らしく生きられる社会を目指し、それを支援する活動・情報発信をしています

### これまでの取り組み

社外向けシンポジウムの開催、製品ブランドによるメッセージ発信（「パンテーン」 #PrideHair）、プライドハウス東京との協働のもと社外向け研修プログラム「P&G アライ育成研修」の無償提供、「LGBTQ+とアライに関する全国意識調査」の実施、当社ホームページを通じた活動報告 等

### ■ PRIDE 指標について

任意団体「work with Pride」は、2016年に日本初の職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ+）への取り組みの評価指標「PRIDE 指標」を策定しました。2017年には、取り組みの範囲やレベルをより具体的に知ることができるように各指標内に評価項目を細分化。『PRIDE 指標 2019』では、応募企業の達成度の高い項目の加点方法を見直し、『PRIDE 指標 2021』では、さらなる取り組みの領域を広げていただくため、加点方法を見直しました。7回目を迎える本年度の『PRIDE 指標 2022』では、昨年度の加点方法を継続します。

また、日本社会でのLGBTQ+に関する理解促進や権利擁護において、企業や団体が果たす役割や存在感が増していることも視野に入れ、国・自治体・学術機関・NPO/NGOなどとの、セクターを超えた協働を推進する企業を評価する『レインボー認定』を、2022年度も継続します。

## ■ P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質の製品ブランドを通じて、世界中の人々の暮らしに触れ、よりよいものになっています。日本では、衣料用洗剤「アリエール」「ボールド」「さらさ」をはじめとして、柔軟剤「レノア」、エアケア製品「ファブリーズ」、台所用洗剤「ジョイ」、紙おむつ「パンパース」、吸水ケアブランド「ウイスペー」、ヘアケアブランド「パンテーン」「h & s」「ヘアレシピ」、スキンケア製品「SK-II」、シェーブケアブランド「ジレット」「ブラウン」、オーラルケアブランド「Oral-B by Braun」など、様々な製品を提供しています。

<https://jp.pg.com/>